

笑顔

熊本市高齢者支援センター ささえりあ帯山

熊本市中央区保田窪1丁目 1-33 第2大田ビル1階

第29号

電話:096-241-0230 FAX:096-241-0232

平成26年10月

E-mail:sasaeriaobiayama @kyouninkai.jp

http://www.kyouninkai.jp/obiayama /

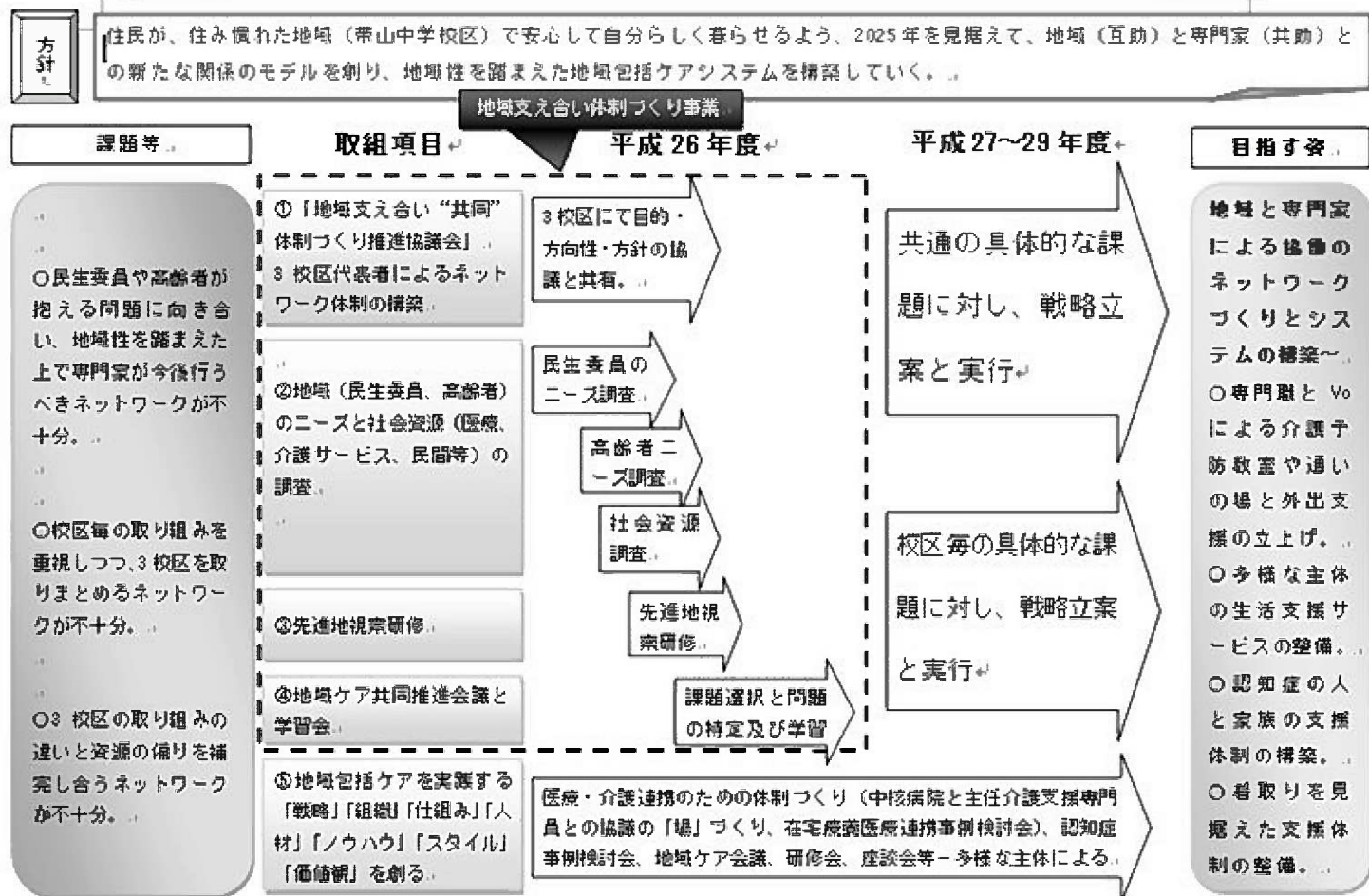


地域支え合い “共同” 体制づくり事業について

今後、団塊世代の方々が高齢者の仲間入りとなります。2025年を見据え、地域での民生委員さん方の活動は、極めて困難を要することが予想されます。それに対応していくためには、民生委員さん方や高齢者の方が抱える問題は何かを把握した上で、地域（様々な地縁組織、テーマ型組織）と医療機関、介護サービス事業所、NPO法人や民間企業で新たな関係のネットワークを築き上げ、一緒に取り組んでいくことが必要になるのではないのでしょうか。

そこで、今年度8月よりささえりあ帯山が担当させて頂いております、託麻原、帯山、帯山西校区の3つの小学校区（帯山中学校区）におきまして、「共に生き、相互に支え合うことができる地域」を目指して、「地域支え合い “共同” 体制づくり推進協議会」を立ち上げました。これは熊本市の補助金を活用した事業で、3つの校区の社会福祉協議会が共同で主催し、ささえりあ帯山をはじめ、様々な機関連組織が加わっております。

地域支え合い “共同” 体制づくりによるネットワークの構築



認知症事例検討会

七月十七日、熊本学園大学にて「**認知症事例検討会**」を開催しました。始めに、熊本県内における認知症の方の見守り等の取り組み状況について熊本県 認知症対策・地域ケア推進課 工藤氏より説明があり、その後、熊本学園大学社会福祉学部 准教授 黒木氏の司会進行のもと、ささえりあ帯山の上村より事例提供しました。「徘徊される認知症の人とその家族の暮らしを支えるために」をテーマと

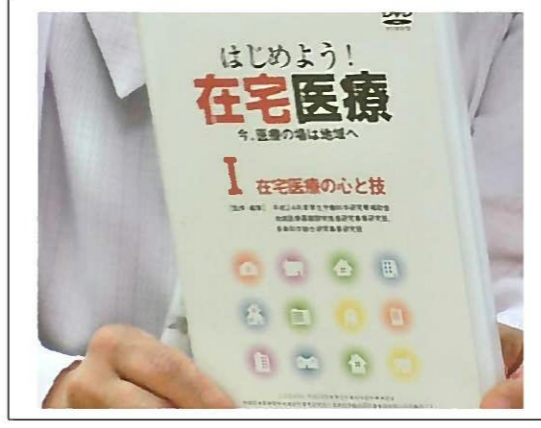
し、圏域の医師をはじめとする医療関係者や民生委員、地域の方、ケアマネジャー、各サービス事業所の方々と一緒に考えてみました。「認知症があり徘徊される方と一緒に暮らし家族を、どのようにして支援すればいいのか」地域で出来ることは？医療で出来ることは？介護サービスで出来ることは？参加された皆さんのそれぞれの立場から、意見をたくさん出して頂きました。「このような家族は増えてくると思う」「今



居宅・包括連絡会議

8月19日(火)、フォレスト熊本5階会議室にて、**居宅・包括連絡会**を開催致しました。今回は、厚生労働省から発行されています『介護と在宅医療～医療の現場は地域へ～』のDVDを皆さんと鑑賞しました。

医師がどのような思いをもって在宅医療に携わっているか、また、医師が在宅医療チームに直接関わっていくことの重要性を再確認する事ができました。その後、江南病院地域連携室 長島氏、熊本託麻台リハビリテーション病院 院長 平田氏、最後に高野病院地域医療連携課 廣松氏より、各病院の特徴の説明や質疑応答を行いました。病院との顔を合わせる機会を得てお互いの現状が解り、今後の連携を図る上でも大変有意義な場になりました。



在宅ホスピス・ボランティア活動の取組みについて

それぞれの思いと仕事



九月二十日(土)熊本学園大学付属社会福祉研究所の主催によるシンポジウムが開催されました。初めに、在宅ホスピス・ボランティアの「手と手」副代表の峰平氏より、会の理念や活

動内容、思い出に残る患者さんたちの事例の紹介、また在宅ホスピス・ボランティアの役割をお話されました。次に看取りを経験した御家族の富永氏より、癌の義母の日常の世話から看取りまで、約5ヶ月間関わった経験を振り返りながら、家族の思いと世話をする人の思いなど、家族の立場でお話をされました。最後に託麻原校区社会



「大切なことは、側にいて家族や患者の声に耳を傾けること。側にいることで、ホッと出来ることです。」



母は、「幸せ、天国。」と言って息をひきとりました。「家族ではなく、第三者でないと出来ない部分もあり、頭の下がる思いをしている。」

地域ケア会議

ささえりあ帯山圏域で定例の「地域ケア(個別)会議」を開催しました。圏域の居宅介護支援事業所とサービス事業所、地域の担当民生委員さんと、さらにはご家族の方々にも参加して頂きました。地域ケア会議とは、国が掲げている「地域包括ケアシステムの構築に取り組む」社会づくりのために重要なツールとして位置づけされています。出来る限り住み慣れた地域で、在宅を基本とした生活の継続を目指すために、個別の事案を支援していくことを通じて、地域全体の課題を発見し、地域づくりや資源開発を目指して行く為に会議は行われます。自助・互助・共助・公助を組み合わせ、「安心して年を重ねることができる地域づくり」を、皆さん一緒に行っていきましょう。



安心して暮らせる

まちづくりを目指す

七月十五日(火)・二十五日(金)の両日、託麻原地域コミュニティセンターにて、熊本市社会福祉協議会中央区事務所主催で**託麻原校区住民座談会**が行われました。

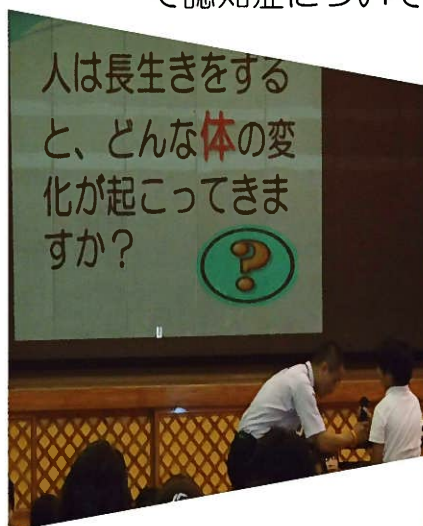
「子どもから高齢者まで、全ての人々が住み慣れた託麻原で共に支え合い(互助)、安心して幸せな生活が送れるような温かい地域づくりの実現を目指す」をテーマとして、住民や校区社協関係者、子育て中の保護者、大学生などが参加し、暮らし・子ども・子育て・高齢者について普段の生活の中での困り事は何かを議論しました。生活の困りごとを共有し、問題解決に向けそれぞれができることを考え、託麻原校区住民として目指す生活についての話し合いができました。

「お困り事はなんですか？」



supporter

7月4日、託麻原小学校にて4年生を対象とした**認知症サポーター養成講座**を開催しました。今回は、生徒だけでなく保護者の方にも受講していただきました。認知症の症状や認知症の人の気持ち等について話をした後、実際に何人かの生徒に認知症の人への対応の仕方を発表してもらいました。受講後に、親子で認知症について考えていただくことができればと思います。



supporter

★ 編集後記 ★

猛暑日のほとんどみられなかった今年の夏、秋への移り変わりも感じにくかったのではないのでしょうか。しかしながら最近朝夕ひんやりとし、少し肌寒く感じるようになりました。皆様におかれましては、急な気温の変化でお体の調子等崩されていませんか？

体にも頭(もの忘れの予防)にも良いといわれています野菜の価格も高騰し、我が家のエンゲル係数は大変な事になっています。(泣)しかし、健康のためにも野菜はしっかり摂りたいと思っております。また、ウォーキングなど毎日少しずつでも運動する事も同時にお勧めさせていただきます。(私も熊本城マラソン参加に向け、少しずつ練習を始めてます！)

今回の「笑顔」にも地域の皆様と一緒に取り組ませただいた活動をお届けしております。今後とも皆様と一緒に、安心して生活できる地域づくりに協力できるような職員一同努力して参りますので、よろしくお願い申し上げます。

切通 悠貴

